

* 分散会の流れについて

本大会の分科会・分散会は「グループ討議」で行います。

(1) 分散会「グループ討議」の手順

1つの分散会を6～7人ずつのグループに分けます。

各グループにはファシリテーター(進行役)と記録者を置きます。ファシリテーターと記録者は、千葉県の校長が務めます。

- ① 「分散会の視点」をテーマとして話し合います。
- ② 各都県からのレポートは、分散会の視点に基づいた課題解決に向けた貴重な提案です。発表を受けて、提案に対する感想等(黄色の付箋)を書き、提案者に渡します。続いて、自分の実践経験や自校の課題を振り返りながら、自由な発想で課題・困難点(ピンクの付箋)や解決のためのアイデア・提案等(水色の付箋)を記入します。(水色の付箋は課題出しの後、再度記入時間設定)
- ③ 出された意見(付箋)を話し合いながら整理し、課題解決に向けた校長の果たすべき役割や指導性について議論します。
- ④ 最後に、参加者の総意でキーワードやキーセンテンスを並べてまとめます。
- ⑤ グループ報告は2～3グループに報告いただきます。
- ⑥ 分散会のまとめでは、提案者から、振り返りと感想を述べてもらいます。その後、参加者から討議の感想をもらいます。

(2) 分散会の流れ(イメージ) 分散会開始前に、名刺交換、自己紹介をしておきます。

